

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873900694
法人名	医療法人 岩村外科胃腸科
事業所名	グループホーム よしの里
所在地	愛媛県宇和島市吉田町魚棚20番地5
自己評価作成日	平成22年2月5日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会者や地域住民の方に会う時には笑顔で挨拶するように心掛けている。</li> <li>・利用者、また利用者の家族との信頼関係が築けていけるよう職員一人一人努めている。</li> </ul>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所の畑で収穫した野菜や、利用者とかけて採ってきた山菜を食事に採り入れておられる。献立は、法人の栄養士が立てるようになってきているが、利用者の希望等も踏まえて、替えることもある。利用者の苦手な食材は、形をわからないように調理されたり、代替えする等、おいしく食事ができるよう気配りされている。調査訪問時、近くで採れたつわ路の下ごしらえをされている利用者の様子がかがえた。</p> <p>毎月、歯科医、歯科衛生士の訪問があり、利用者職員にブラッシングを指導していただいている。</p> <p>ご家族には、毎月、写真入りのポストカードと、担当職員、利用者ご本人からもお手紙を書いて、日々の様子を伝えておられる。管理者は、具体的な内容の報告に努め、ご家族からご意見を引き出せるようにされている。</p>
---

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印		項目		取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と	
		2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと	
		3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない	
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように	
		2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度	
		3. たまにある				3. たまに	
		4. ほとんどない				4. ほとんどない	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない	
		4. ほとんどいない				4. 全くいない	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が	
		2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが	
		3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が					
		2. 利用者の2/3くらいが					
		3. 利用者の1/3くらいが					
		4. ほとんどいない					

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -  
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名	グループホーム よしの里
(ユニット名)	ユニット2
記入者(管理者)	
氏名	谷口由香
評価完了日	平成 22 年 2 月 5 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「家庭的な環境のもとであたり前に普通の生活を」の理念についての振り返りをミーティングなどで行なっている。また今年度、理念に向かっての取り組みに具体的な目標を作り、理念に沿うケアに努めていけるようにしている。	
			(外部評価) 理念に沿い「家庭ならどうするのだろうか?」と考え、話し合いながらケアに取り組まれている。又、地域とのつながりについても「おすそ分けをしたり、助け合ったり」のお付き合いができるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 隔月近くの公園の掃除、地方祭の旗立てなど地域の方と共に行なっている。また、年に2回消防署を呼んでの避難訓練に地域住民も参加して頂いている。	
			(外部評価) 利用者と一緒に回覧板を回したり、年2回発行する「よしの里たより」をご近所に配布しておられる。定期的に地域の方が畑作業や習字、押し花等のボランティアに来てくださっている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で職員による研修報告を行ない、学んだことを地域の方々に伝えたり、ホームに来られた際、介護に悩まれている方の相談に応じたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み                      運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議で事業所の活動報告や職員研修の内容を報告すると共に利用者にも参加を促し、出席者からのご意見をいただきながら、質の確保に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には利用者も毎回、数名参加されており、地域から出席くださる方達と顔なじみになっているような利用者もある。運営推進会議を2カ月ごと、第2木曜日の午後開催と決めて、地域の方やご家族等に案内されているが、現在は参加者は少な目のようである。</p>	<p>会議に、いろいろな方の参加をいただけるよう工夫されてみてほしい。会議を貴事業所のサービスの質向上につなげていくために、どのような会議にしていきたいかということ話し合い、会議のすすめ方等、工夫を重ねていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携                      市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者はネットワーク会議に参加し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>今年度、市は「認知症地域支援体制のモデル地区」に指定されており、徘徊SOSネットワーク模擬訓練を事業所も一緒に行われた。又、運営推進会議時、介護保険制度について説明していただいたり、研修の案内をいただいたりしている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践                      代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングや研修会で学ぶ機会をつくり、鍵をかけない工夫をしたりつなぎや手をしばるなどの禁止されている具体的な行為について積極的に話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者がどこにいるか把握するように心がけておられ、音等にも気を付けておられる。利用者が点滴を受ける時には、職員が付き添い、拘束しないで済むような対応に心掛けておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修やミーティングなどで繰り返し学ぶ機会を作って、一人一人が虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  研修会に参加して職員一人一人学ぶ機会をつくっている。また参加して学んだことをホーム全体で理解に努めている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時、契約前に本人や家族と十分な時間をとり説明している。ホームの中もよく見ていただき、雰囲気を感じていただき、理解、納得していただいた上で契約を行なっている。解約の際は話をよく聴き誠実に対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  家族会や家族が面会に来られた際に意見や要望をお聞きするようにしている。玄関には「ご意見箱」を設置している。また、家族が気軽に意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。出された意見や要望については職員間で話し合って改善するよう努めている。  (外部評価)  ご家族には、毎月、写真入りのポストカードと、担当職員、利用者ご本人からお手紙を書いて、日々の様子を伝えておられる。管理者は、具体的な内容の報告に努め、ご家族からご意見を引き出せるようにされている。	          事業所の目指している理念に沿って、ご家族とも共有しながら支援に取り組めるよう、取り組みを工夫していかれてほしい。たとえば、ご意見を引き出し事業所の質の向上につなげていけるよう、家族アンケート等も活用されてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営管理者が立会いのもと、毎月のミーティングや年2回の全体ミーティングを通して、職員の意見をひろいあげる機会が設けている。 (外部評価) 日々、管理者と職員は、意見や提案を出し合い、話し合いながら取り組みをすすめておられる。勤務についても、話し合いながら決めておられる。職員の家族等も協力し、外出する際にはサポートに来てくださっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 自分の関心のある研修など希望すれば受講することができる。日々利用者の方への働きかけも職員同士話し合いながら、自分達で考え行動できる環境にある。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全ての職員が年2回は必ず研修と受け入れるよう指導され職員が今関心のある事においては自分で研修を選べるようになってきている。また研修報告を書く事により、内容の把握、全職員への周知を行なっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 市内のグループホーム連絡会への参加や、研修の機会を通じて交流を図り、お祭りや観月会、運営推進会議等、相互に参加しあっている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居される前にご本人やご家族より、今までの暮らしぶりや要望等詳しくお聞きし、入居後の不安を少しでも少なくし安心して頂けるよう努めている。また入居後はご本人のちょっとした表情や行動に気を配り、安心して頂けるような声掛けに心掛けている。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族が来所された際は話し易い雰囲気ですぐに接し、不安に思われたり求められている事柄をゆっくりとお聞きしている。またホームでの様子をお伝えすることで安心して頂ける様努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とご家族から現在の状況や生活歴、今希望されている事柄を詳しく伺い、まず必要とされる支援を見極めその方にあったサービス内容の説明を行なっている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家事全般において、一緒に仕事をしたり、出来る事柄においてはおまかせし出来る喜びを一緒に共有している。野菜作りや昔ながらの料理にしたり教えていただくことが多く、よく相談している。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム内での行事への参加呼びかけを行っており、ご本人と一緒に過ごして頂くよう努めている。参加して頂いた際、ご家族の方に近況報告を行ったり、相談等行なっている。またご家族へポストカードの送付し、ホーム内での様子をお伝えしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の行事に積極的に参加し、馴染みの人との出会いを大切にしている。また昔、趣味でされていた習い事などの発表の場への見学など個々の支援にも努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>近くから入居されている方は、今まで通り自治会の公園の清掃活動が続けておられる方もある。お墓参りに職員とともに行かれる方もいる。知り合いの方が訪ねて来てくれることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員は利用者の様子に合わせてレクリエーションや散歩など利用者同士が共に楽しめるよう工夫しながら支援している。また嫌な雰囲気にならないよう、利用者の中に入り、会話の架け橋になるよう努めている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院により退所された方へのお見舞いをし、ご家族にお会いする機会があれば様子を伺ったり、相談しやすい雰囲気作りに努めている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人との会話の中で思いや希望を見出し、それに近づくことができるよう支援している。また、意思の疎通が恩難な方に対してはこれまでの生活歴やご家族の話を参考にして支援するよう努めている。	
			(外部評価) 利用者は、新聞の折り込みチラシを見ることが好きな方も多く、一緒に見ながら食べたいもの等の把握に努めておられ、献立を変更したり、又、買い物にも出かけるきっかけになっている。職員は、利用者を「家族のように接し」信頼関係作りに努め、思いを探り、職員間での共有に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個々の生活歴や馴染みの暮らし方について、ご本人やご家族に話をきかせて頂いている。また面会に来られたご兄弟やご友人などにも話をきかせて頂ける様努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員は利用者一人一人がどのようにして一日を過ごしているか把握しており、少しでも普段と違った様子が見られれば職員間で話し合うようにしている。また、朝のバイタルチェックや排泄状況のチェックを毎日行っており、少しの変化も見逃さずに対応できるよう努めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスを行なう時はご本人に参加して頂き、その他の要望はないかなどお聞きしている。また月に1度モニタリングを行い、見直し、職員で話し合い、ご家族が面会に来られた際には意見を伺い介護計画作成に反映させている。	
			(外部評価) 介護計画は、1年ごとの見直しとなっている。職員の利用者への対応が記入されている「援助計画」に沿って、毎月モニタリングをされている。	さらに、ご本人がより良く暮らすために、利用者個々のアセスメントを活かし、ご家族にも具体的に相談される等、意見を引き出し、計画につなげていかれてほしい。現状に即した計画を作成し、実践に取り組みられてほしい。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別記録表を作り、それにはバイタル(体温、脈、血圧)排泄(尿と排便回数)、食事と水分の摂取量を記入し、個人別ケース記録にとじている。また個人別ケース記録には昼夜の様子を記入し、ご本人がどういう状態であるか、わかりやすくなっている為、介護計画の見直しに役立っている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) ご本人やご家族の状況や希望・要望に出来る限り対応出来るよう柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。例えば個々に行きたい美容院や散歩の場所、買い物の場所、季節の折には墓参りなどがある。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 毎月カラオケ、習字、押し花などをボランティアの方々の協力の元行っている。また出来上がった作品を公民館や伊予銀行のロビー展に出品している。これによって作品が他の人たちの目にふれる機会ができ、創作の意欲にも繋がっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医が近隣にあり、すぐに相談、連絡が取れ る状態にある。また、歯科、眼科など本人の希望する 病院に受診できる状態にしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>以前からのかかりつけ医に、続けて受診できるよう支 援されている。ご家族が通院介助される場合には、事 業所から日頃の様子を伝え、受診結果を教えていただ くようにされている。毎月、歯科医、歯科衛生士の訪 問があり、利用者と職員にブラッシングを指導してい ただいている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>受診時や2ヶ月1回の看護師研修時などにこまめに利 用者の状態を伝えている。夜間も変わった事あればす ぐ看護師へ報告している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院された際はスタッフが協力し面会に行き話をし ている。また看護師から様子を聞き情報交換を行って いる。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居時に終末期どう過ごしたいか希望を聞いており、 日頃から家族の方が来られた際などに様子を詳しく話 をする。また状態が変わるごとに、かかりつけ医師と 本人・家族と話し合いを行い、いつでも連携が取れる ようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居時、ご家族から「病院があるから安心」と言われ る方が多く、ご本人の状態変化に応じてその都度、ご 本人ご家族と話し合い、その後の支援について話し合 っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 毎月ミーティング時及び2ヶ月に1回の協力医療機関の看護師による緊急時対応研修会に基本的な対応の訓練、緊急時のシュミレーションを行なっている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 毎月ユニット別で、日勤帯、夜勤帯の避難訓練を実施している。また年2回は地域の方に協力して頂き、消防訓練を行なっている。 (外部評価) 運営推進会議時、地域の方達も参加していただき、火災想定での避難訓練が行われた。地域の方達と職員で利用者の避難誘導をされた。又、事業所内で毎月、火元を替えて、利用者と避難訓練を行ってられる。	事業所では、地域の方に協力いただくには、事業所中の様子や利用者の状態を知ってもらうことが大切だと考えておられた。さらに、地域との協力体制をすすめ、利用者が安全に避難できるような方策について話し合い、訓練を重ねていかれることが期待される。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) トイレの際の声掛けなど、他者に気付かれない様な声掛けの仕方(小声や筆談)を行なっている。家族の方が来られた際や電話などは希望によりプライバシーを尊重し、居室に案内している。 (外部評価) 事業所全体で、言葉かけや対応について気付いたことを話し合うようにされており、ご本人の性格等も踏まえて、利用者個々に応じた言葉かけができるよう心がけておられる。職員は、利用者の行ってくれたこと等に、お礼を言うようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日頃から親しみやすく感じてもらえる様な声掛けや、雰囲気作りをしており、職員に対し、希望や思いを言いやすい環境にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 昔ながらの一日のリズムを大切にする為に一人ひとりの生き方をアセスメントし、昔から楽しみにされていたことを希望によって取り入れていく。また職員側のペースにならないようにミーティング等で振り返りを行なっている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) その人らしい衣服をご本人、家族等から聞くなどして把握するように努めている。またホームでは季節に合わせた服を自ら選択出来るよう声掛けしたり工夫する。美容室は昔からの馴染みの店に行くなどしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 栄養士が立てた献立をもとに毎食、食事の準備、野菜切りなどおかず作り等、職員と一緒にして頂いている。食後の後片付けも一緒に手伝って頂いている。	
			(外部評価) 事業所の畑で収穫した野菜や、利用者とは出かけて採ってきた山菜を食事に採り入れておられる。献立は、法人の栄養士が立てるようになってきているが、利用者の希望等も踏まえて、替えることもある。利用者の苦手な食材は、調理を工夫されたり、代替えする等、おいしく食事ができるよう気配りされている。調査訪問時、近くで採れたつわ路の下ごしらえをされている利用者の様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量、食事量等、本人の摂取量を職員が一人一人把握をしその量を支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎月、協力歯科医療機関の歯科医師、歯科衛生士が来所し、口腔内の指導等、ホーム職員と利用者に行っている。毎食後、歯磨きをするが、自力で行うことが難しい方には誘導できない部分を介助して口腔内の清潔保持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 時々失敗がみられる方には、排泄チェック表に排泄時間をつけ一人一人の排泄パターンの把握する。時間が空いているようなら声掛けしトイレ誘導を行なう。また出来る限り本人のペースに合わせ、自立に向けた支援を行っている。 (外部評価) トイレの表示の仕方等も検討を重ねて、表示されており、ご自分でトイレに行けるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表をもとに個々の排泄状態に合わせた便秘予防を行なっている。予防には冷たい牛乳、食物繊維の多い食品、ヨーグルト等を取り入れている。それによって自然排便を促すように努めている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 個々の入浴希望を聞き、なるべくゆったりした入浴を支援している。浴槽の中には入浴剤やゆずなど季節に合わせたものを取り入れ工夫している。 (外部評価) ひとりで入浴される方には、安全やプライバシーに配慮した対応に心がけ支援されている。「体調が悪いから」と入浴に気がすまないような方もあるが、医師に診察していただいた際に「入浴しても大丈夫」と診断してもらえると、安心して入浴されるようである。寝付きにくい時には、足浴を支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人一人の状態や体調に合わせ、日中はソファで横になるなどの工夫を行っている。また眠れない方は日中に散歩や体操などをして活動量を上げ、就寝前には足浴をし安眠支援に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は一人ひとりの服薬を覚えている。事務所内に服薬リストがあり、いつでも確認できるようにしている。服薬の際にはご本人の薬である事を確認し目的等の説明をして服薬の支援をしている。自力での服薬が難しい方には介助している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの生活歴を参考に食事の準備、般若心経の移し書き、編み物、歌を唄うなど楽しみながら継続できるように支援している。買い物に行ったり、ボール投げや体操などを行い、気分転換ができるよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 庭のベンチで日なたぼっこをしたり、散歩やドライブなど一人ひとりの状態や希望により出掛けている。また、地域の行事にも積極的に参加をし、観音水のそうめん流しや城川かまぼこ板の展覧会、お墓参りなど家族の方にも協力して頂き出掛けている。	
			(外部評価) 近くのスーパー等に行き物に行かれたり、又、外出を嫌がる方にも、個別に近くの店へソフトクリームや太鼓まんを食べに出かけておられる。事業所には、毎週、移動パン屋さんが来てくれており、パンを買いに出られ、歩くことがむつかしかったような方が歩いて行かれるようになった事例もある。	職員は、外部研修時に外出支援の考え方や工夫についてのお話を聞き、事業所でも外出の機会を増やしていきたいと話しておられた。利用者の方から「お寿司を食べにいきたい」との希望もあり、利用者の誕生日に出かけられるよう検討されていた。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの力に応じて、お金の所持の支援をしている。買い物の際の代金支払い等は出来る限りご本人にして頂き、職員は傍で見守りながら支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話や手紙など利用者の希望によって支援している。出来ない部分は職員がお手伝いをするようにしている。毎月家族に送付している近況報告には、ご自身で一言記入できるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居間のテレビの音の高さや室内の照明や日差しの明るさに気をつけている。季節の花を飾ったり、居間や廊下の壁面には利用者と一緒で作成した季節に応じた壁面を飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では「利用者に季節を感じてもらえるような環境作りもすすめておられ、調査訪問時、お雛様を飾っておられた。利用者たちとちぎり絵で作ったお雛様の作品や、利用者が作った俳句等も飾られていた。昼食後、テレビの前のソファで、のんびりされている利用者の様子もうかがえた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間ではソファを置き、冬場はこたつも置いて誰でもゆっくりと過ごせるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室にはご本人が作られた小物や家族写真などを飾ったり、今まで使われていたタンスや仏壇、テレビなどを持ち込み過ごしやすいようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>お位牌を持ち込まれている利用者には、毎朝、お茶をお供えできるよう支援されている。自作の季節塗り絵カレンダーや、ご家族の写真を飾っている方もあった。日中は、居間で過ごされる方が多いようである。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのわかる力を把握し混乱や失敗を防げるようにトイレの入口にはプレートをはり、浴室にはのれんをかけている。また居間、廊下、浴室には手すりがあり、段差もないため安全で自立した生活が送れるようになっている。</p>	